此の際思い切つて従来制

して参りました入院の

きましてもその線に沿つ

県はもとより本村に

結果はからずも微力であり

浅学菲才の私が同氏の後任

して、議長の重職を務め

せられましたので、改選の

の事由に依りまして、勇退

た新名岩喜氏が、健康上

以下職員の努力もさること

している所長

用に対する認識と御協

の皆様の本診療

東

掲げた理想の具現に歩一歩 結果を招きこの分では当初 おにおいては従来にない好

議

長就任

12

当りて

基盤の整備なり価格の安定

もあるので国が農業生産の

よつて左右される不安定さ るわけでないし自然の力に きましては深く感謝を申

上げる次第であります

切つて参りましたことに の賜で何とかその難関を

近づいて行けるのではな

と意を強くいたして居

国は国民皆保険の旗印をか 既に皆様御承知のとおり我

> を勤められ、宮崎県議長会 去る五月臨時議会に於て、

期六ヶ年の長い間、

長より表彰まで受けられま

げ社会保障制度の基盤と

に向つて進んで参つて居り

いうべき医療行政の充実

うに思われるのでありま

ままに今日に到つている

報

健衛生上の不便は漸次解消

て参つたのでありますが

には条件がよくなつて参り

る事情に遭遇しその真価を診療所の経営は種々困難な

充分発揮することが出来な

る補綴(入歯)の五割給 給食給付と歯科診療に

私は先ず何よりも前議長の

には献身的に努力せられた身でありながら、本村の

ることになりました。

であります。その他出生の

を正して敬意を表し感謝申

したその姿には心から襟

皆様すでに御承知のように

## 開設七周年を迎えて

東郷村国民健康保険診療所

実施されその直営診療所が 本村の国民健康保険制度が 設によって村民の皆様の保 日を迎えました。顧みます 開設されてから七周年記念 向上と村内医療機関の増 戴く保険税で賄なわねばな 果止むなく増税するように りませんで色々と検討の結 たしたのであります。

このような状況にあります このことにつきましても診 ことに大きいのであります 保険の給付を最大限に活用 険事業のことで御座居ます 業の財政に及ぼす影響はま ので併せてお願い申し上げ 療業務に直接関係の深い保 ますが一方国民健康保険事 続けて来ました診療所も愈 して今までヨチョチ歩きを

る医療機関としての機能を 村民の皆様の健康をまも

更に七月以降の医療費値上 の問題は診療所経営の面 のに買いかえる等いたしまの性能を有する新らしいもましたレントゲン機も高度 びにいたしました。その他 開設当初から使用して参り ことが肝要でありますの 充分発揮するためにはどう しても給食施設を完備する

で

党的色彩もなく、

も一人一党であつて、

和の精神できわめて、

識を高め今後尚一層の御指 記念日に当り更に皆様の認 記念日に当り更に皆様の認 勢を整えることになつたのもる殿堂として恥ぢざる態 以上国民健康保険の給付拡 であります。

は 諸を高め今後尚一層の御指 議を高め今後尚一層の御指 のののであります。 り、欠くことができないの業のはたす役割が重要であ 行なうようにするのである が立派に育つように保護助 やり方も近代的に合理的に でしよう。この場合農業 云うとこれが基本法の目 長してゆきます。」簡単に 入れてもすぐに効果があが が、他産業のように資本を 国が責任をもつて農業

活躍されました若藤、新名 るだろうかと危懼いたして 責を全うすることが出来得ありまして、果してこの重 務した補助職員であり、村事務として二十六年有余勤 長をはじめ、元議長として おりますが、名議長として 議会議員としては二期目で 郡内でも重きをなした前議一者が希望のもでるようにす 戍両先輩の指導を仰ぎ、 るのが、農業基本法である といえましよう。 うようにして、農業をやる の産業で働くものとの所得 補う為に保護をするという ことになる。そして結果と いていろいろ不利を 農業に働く者と他 農業基本 知らせるように

議一法はあくまでも農業の向う一産をしてもその価格に不安 生産の長期計画にそつて生 引の合理化

は 固 定 資 産 す期 °O 税 0

期

は

第二

期

大いに勉強して、皆様の期村の名を辱かしめないよう 待に反しないよう頑張る心 員諸氏の御支援を得て、 昭和36年6月15日 発 行 所 宮崎県東旧杵郡 郷 村 役 本 去り、 ので、今後と雖も和を中 つづけてまいっております

決に当つては慎重に審議を

2

じ

カン

夜

牧

水

な雰囲気の中に、

しかも議

は与党もなく、又従つて野 もとより本村議会の在り方

算で御座います。

導御鞭撻を得、日夜身魂を 村民の皆様の絶大なる御指 申し述べまして就任の

農業基本法 御挨拶といたします 打ち込んで、万全を期する 0 研 究 (その二)

東郷村農業委員会

の不利を補正する目的を大

きな目標としていることは

部分的な生産作業の共同化

ここでいう協業化の中には で行われるものである。 足的手段として農民の創意

夫を尊重するという立場

え方は前にのべた自立経営

くことになる。併しこの考

の育成と多少異り一つの

は勿論共同利用施設も含ま

る。

と必要な法制上の措置がと 定されることになれば次々 込んでないが、この法が制 い具体的な政策は全部は折 一、農業生産に対する施策 ることになる。つまり食 れる事になるでしよう。 からの農民が何を作つた 政府は計画をたて公表

画目標にしたがつてみちび 作貧乏になったりしない 糧にしても原料農産物に あるかを計画として公け ような農作物を作る必要 ような農作物の要求が 消費者からみて、 し、その く合理的にして近代化 うならば農業経営をなる るものではない。一口によりかかることはゆるさ に力を入れようというの に考えられどのような政策 ままで国の保護政策にの きるものを育成する農業の 1、家族農業経営で自力で ついて づれにしても経営を今

二、農産物の価格安定と取 ぎ込むことによって利益を 機械化をはかる等の方向が の交換又は家畜の導入或は は経営の規模も大きくする 勿論
これは
全般的な話しで 考えられているようである 方法も考えられるし、農地 わけであるがこの為に

ないように議会の運営に当 する意思決定をなすべく慎 重審議の上聊かも、過誤 あつても決定後はさらりと 遠慮会釈することなく、 議員の意見は充分述べて貰 とし、事件の大小によらず には口角泡をとばすことが して、真に本村の実状に即 、討議に当つては私心を 正しと信ずることは な原則に立つのでなく、農 格安定とは、経済の合理的 は重要な農産物については 生産ができない。そこで国があつたのでは、安心して 各種の不利があるので、そ 価格の安定をはかることに 業生産は一般の企業と異り なっている。この場合の まだ起きぬひとの庭べに露をおびてさやかに咲ける夏草の かげみゆかけやらぬ闇にかがまりてものの苗植うる人のみじか夜の明けやらぬ闇にかがまりてものの苗植うる人の あ 夜ふかくもの書きをれば庭さきに鳴く夏虫の声のしたしさ かつきを

取引の合理化をはかること 産に必要な肥料とか農機具 りを見て値段を安定するよ に経済なりその時の物価な 飼料などについても生産と 農産物の取引についても合 うにしようというのである 注意を要する点で、その外 が考えられる。 化を進めるとともに、農 加工を強化し農業生

遠い職場に通つたり、

される。そのために余程の

と不在地主として国に買収

ことがない限り、嫌々乍ら

まにして村外に住いを移す

いまは自分の農地をそのま

る

農地信託制度ができ

加減な作り方をして農地と

るので国、

三、農業のやり方や仕組に 日か再び作る事が出来る 農協にあづけて出稼ぎに出 4、農業に残る人、出て るしくみになっている。 うに契約書を作ればよいて しての役割を充分はたして 足もとを見られて買叩か れば農地信託制度で不在地 ・定の期限をつけて農地を 適当な買手が出来るまでは いよう売買の信託も出来 になる。また売るときも 場合が多い。

必要なのにその半分しか残 十万人の新らしい労働力が みると、毎年男女合せて四 教育や研究に力を入れよう 農業をやる優秀な人を必要 とくに若い人が農村を離れ な数だけ残すようにする為 ん農業の担い手が老齢化 いうわけである。最近は に関心をましているかを証

そこで 成 長 株 玉 12 な

る

がこの制度に対して如何と七十%をこえて・区民 がこの制度に対して如 原区·迫野内区·田野区· 下渡川区九十二%の外八重 れでも、瀬平区九十六%、 程の徴収成績を挙げること を開始しています。第一 日より(六月分) 出張検認を終え五月三十 ができませんでしたが、 組合長がまとめず個人個人 ておりましたので保険料も か持参したためか期待した 日は年金法の説明会をかね」はり(六月分)第二回目 そ だと思います 来の幸福、 さと済まされ (村内に十一人)をさつ 對田区高山ミサ

の位有利であるかの問題に 度に対する政府の方針、将 事実国民年金は他の民間会 会社等の保険に比較してど ついて知つて頂き度いもの かけ金に驚いてば もう少しこの制 いは他の保険

た人もありま と思います。これは誠にも と言うことにはならないと 然しそれだからと言つて国 できないと言う人達がいる 民年金に加入するのは損だ つともな意見でありますが とが保証されています。

この施策が重要視されてい ないよう<br />
農業外の各方面の<br />
又出先で差別されることの 安心して出ていけるよう、 保障の拡充をするなどし 致をはかるとともに、社会 り地方の工業振興、工場誘 る人に対しては職業教育な はなれて家計の安定を考え るわけである。 る事になっている。 強い協力と総合的政策をと 一方農業を るでしよう。 会を通過して

れるためには、国が土地条れるためには、国が土地条の事業が、うまく行われるためには、国が土地条 件などの整備に重点を置き 基本法では「構造改善」 5、構造改善の指導助成 県、町村農業委 いくことを農業 め息のみついて暮す不遇な と騒がれる中にあつて百年 吾々農業者の に神武景気といわれ岩戸景 と騒がれる中にあつて百年会ではその生産に追つかぬ やテレビ、 気とうたわれて電気洗濯機 来るようお互いいて暮す不遇な 電気冷蔵庫と都 やまない次第で の大巾の保護を

員会や農協 などに対して指

は林業を切離するとは出来 ある。この様な構造改善に 導や助成をしていくわけで

体についても中央地方を通 以上繰返し研究を続けまし められる事になつている。 じて農民の手足として働け 急務であるので改善をする 仕事をやりや いくためには国、県を通じ ことは勿論 6、行政機関と農業団体 て行政機構の立直しをして 「農業基本法」を実施して のことで農業団 すくする事が

いまだともれる電灯の灯かげはうつる庭のダリ

経営の少い人が数人集つて

共同化をやる場合
これらの

組織を積極的に助長してゆ

皮肉をつける事になってい 時分には待望の基本法も国 愈か本格的に

で国民生活水準その他の諸はつきりと将来物価の変動はつきりと将来物価の変動 事情に変動があればそれら と、きまつた額以上余計に かに何んでも月に一千二百あることはわかつたが、い 世の中がどう変ろうと、 どんなに物価があがつても では民間会社の生命保険や る不安をもたなくて良いこ り貨幣価値の下落等に対す 上げを行うことになってお は出さないと言うことがあ のように一度契約したら、 てとは生命保険や簡易保険 簡易保険に比較して有利で 値うちがどんなになろう

を合せ行うことになつてい じ額のかけ金を出して終身ないので林業を含めた施策 間会社の生命保険とでは同

間会社の生命保険とでは同 の 保険金に対して 七百十円 を納むれば良いことにな 才で年金に加入すると六十 位違うかと言いますと三十 年金をもらうとするとどの

間の場合はそのような費用 費用を国庫が負担した上、 有利であるかと申します なぜ国民年金はこのように ますが、民間会社の場合は ます。更にその上に安心な することになるからであり の上会社の利益までかけ かけ金の半分をつけたして ら人件費、事務費等一切 五才から三万円の年金がで に含めておかなければ損を くれるからでありますが民 万三千五百十円しかでな のであります

ら を 先づこの 当りから 出発し も 先づこの 当的 のでこの 制度 そ年金で生活のできる先進 をかけることがそれ程苦痛 がどれ丈老後の楽しみにななら是非一株もつていた方 らしい成長株であるとする 思います。もしてれがすば に思わなくなればその時で が良くなり又国民もかけ て日本の経済や政府の財政 るかわかりません。日本経

と民間の養芸 社の保険に比較して二倍程 老保険は一千円 全国社会保険 して一千三百 に計算による

又被保険者の中には年

いる方も

(二めんにつづく)

来るのである。

の子供会は、地域の小学

中学校の学童で組織し

母の日 道路の清掃

親子遠足、子供の日

新入生を迎える会

供会の運営をするため、

名程度、子供会の指導者

一名、書記会計一名~

から会長一名、副

七夕祭、夏休みの計

し合つてきめることが

九月

作品展示会、

現在は地域の婦

十月

(注射の薬)

から

(5)

体温計は是非とも一家に一本は備えましよう

る。出来れば子供達

東

体の目的がなければならな

運営費もいくらかいるので

病気におかされます。栄養

特別な注意を願います。 害を受けることのないよう 牲者を出したり、その他被

らない。

せない。

放水直前に、発電所、

集積した、各種産物の流

失を警戒する

ので、川舟、並に河岸に

放水による増水は急な

それは地域に於ける子

かし子供会には、子供自

いけない。

ある。

## 会に

出来たのは昭和二十三年のが ③まじめで責任感のある人 ④ほがらかで言葉や動作の ②親切で世話ずきな人

頃で鶴野内前田部落が最初 則田部落の子供の中に問題 という気持から結成され心配して何とか善導した いたので婦人会の方々 |集会は月に二回程度でその 等が考えられる。 はきはきした人 ⑥何事も先に立つて行える ことが望ましい。指導者は 内一回は「親子会」とする ⑦子供からすかれる人 ⑤協調的で実行力のある人 会場も常に清掃を充分に

は子供達を不良化から護ろ 部落に結成されたが、多く たのであつた。その後、各



遠 足

毎日無理をします。身体がい仕事で身体が疲れます。 見受けられます。薬剤撒布 様が一生懸命に清掃してお 清潔清掃防疫用の薬剤も揃 病気のときは早く診ていた 部は村から助成もしてお お知らせしましたように さんなどの御手許に文書で られますが尚危険な箇所 締出すことに努めましよう 区、組合、婦人協議会の皆 食物にも十分に気を配つて 計画で私共の村から病菌を については先に区長さん、 つております。 各部落共 て、身のまわりも清潔にし 台長さん、婦人協議会長 いて治療することです。 い。農繁期にははげ 有効適切な共同清 b に注意して、水難による犠 耳川流域の人達は次のこと ば放水が予想されますので 節の目的から、今後しばし 切なダムの貯水と、洪水調 愈々本格的な雨期に入りま したが、九州電力では、適 ダ

ム放

水

12 淮

意

◎急性灰白髄炎(小児ま 生後六ヶ月から四才未満の と休養に特に気をつけて下 O の予防について に施設されている。サイレ ダム、役場、鶴野内、福瀬

諸活動をしながら、それ等性薬が余暇を利用して遊戯

地域婦人会や育成会の経費

しておくことが望ましい。

徴収しても悪くはないが、 それは月十円程度の会費を

社会を建設し、幸福な生活 の文化を生み出し、民主的 のことをとおして自分たち

営むための態度や技術を

年間計画は無理のない実行

の出来るものでなければな

をたてることが大事である 毎年四月には必ず年間計画 の中に子供会育成費を計上

けていない者はかならず受乳幼児でこの予防注射を受

夏の健康を守る

伝染病予防の

注意書

ぶことを目的とするもの

ある。この活動をとおし

らぬ。

次は或る子供会の年間計画

である。

体の精神を養うことが出子供達は相互協力、友情

通知がない者もこの年令に 該当する者は注射場におい には通知がされております から昭和三十五年十二月三 十一日までの間に生れた者 けて下さ 昭和三十三年四月一日 ◎小児まひ、日本脳炎、

受けて下さい 満四才までの者も任意の注 2、これ以上の幼児で現在 射が出来ますのでかならず 満四才以上の者の注射

4

病気のうたが

いのある時は早く医師の診察をうけま

3 2

生ものに注意し、

食べすぎ、

飲みすぎをやめましよ

食前と外出から帰つた時は必ず手を洗いましよう

蚊や蠅、できぶりの駆除をいたしましよう

赤痢、疫痢に特に気をつけま

政の貧困を示していると思

業が農業への援助を考える

1

スケッチ大会、ラジ

ラジオ体操

T 節分 節分 節分 がみ がみ 卒業生を送る会、 お祭り らず予防接種をうけて下さ ◎寄生虫の繁殖季節です 満四才までの乳幼児はかな 小児まひの予防は注射

割当てがあり次第に実施し

「地主供

これ

か

5

の農

◎いよいよ伝染病のこわい 保険だより

家庭は勿論部落も職場も集 で集団赤痢が早くも発生し ており油断は出来ません。 季節になりました 市美々津や諸塚村など 駆虫を徹底しましよう。 場合はその家族もかならず 学童に寄生虫が発見された 家庭でも注意して下さい。 虫がおると思つて間違いな しいものではありません。 いです。駆虫は昔の様に苦

供養塚」について 野原部落 0

まれている。 人々の憩の場所として親し うつそうと茂つて、道行く のたもとに、三本の老樹が 福瀬部落に通ずる中野原橋

末に計画しております。御 各学校の寄生虫検査は六月 これは天明三年に、全国を さい碑が横たわつている。 この窮状を見かねて地主が 九月と刻された凝灰岩の小 に頒ち与えて餓死より 自分の貯蔵米や雑穀を窮民 をしのいだのであつたが、 澱粉をとつて、ようやく飢 そのため部落民は飢饉に瀕 でも一粒の米の収穫もなく 襲つた大飢饉の際、本部落 し、草木の芽や蕨の根から 義兵ヱ、天明七年 救

日に及んでいるのである。 の心のよりどころとして今 れた記念の樹であり、それ を讃えたのである。 村人たちは、いたくこの地 から一七六年の間、部落民 三本の大樹もその際植えら 供養塔」を建てて、その徳 七年九月に、ここに「地主 主の温情に感謝して、天明

司

自意識も、経済意識も低く

なり、当然日本の商工業

ようか。この点から農民の のが本当の所ではないでし

発展と同様に、十分考えら

このように簡易保険の保険

ませんが年金に加入してい

んな不幸にあうやらわかり

ることによって直に政府の

ることになり

実質的には掛

金がお安くな れますので、

当金が増額さ

料が安くなりましたので、

郵便局では目

下「保険料引

温い手がさしの

べられるこ

動」を行つて

題を、今ごろ取上げるよう

あるいは老後

利用されます

ねばならなかつた基本問

連盟事務局長 崎長

一、魚釣りや、河岸で仕事 一、耳川では、子供を遊ば のことを守りましよう。 、川の浅瀬を、歩いて渡 変り具合によく注意するをするときは、川の水の 信号をいたしますので次 一分間吹鳴して放水 どうしたら良いか、そのた | 御出席下さいましてありが 話していただきたいと思い 力をしたら良いかなど、 ようですし、貿易の自由化 他産業との差は大きくなる 力をしたら良いかなど、おめに農村青年はどういう努 は、これからの日本農業は 面もあります。そこで本日 等による不安もあり、暗い 業への気運が急激に高まつ 得を増大して、たのしい農 の機械化とか、共同化など 貧困だつた日本農政 て来ましたが、 がさかんに叫ばれ、農業所 一方農業と 最近農業 の五月九日「農業基本問題

に来た農業と言うことばが 松坂今迄、たびたび曲角 来ましたが、農林省は昭和おだいもくの様に使われて

と言うことです。所で生産 うてとを農業政策の中心に 冷細経営の解消を計ると言 向上をはかつて行くことが らの日本農業は、生産性 つている事は、結局これ して行かなければならない 番大切で、そのためには 戦後15年になって、 のです。その中で言

ながつていくと思います。 性の向上には、冷細経営の 点に、実は日本の過去の農 打破は、農家の共同化とつ どを取り上げねばならな まだに「農業の基本問題」な の方向はでたと思うのです からの日本農業のだいたい 久木田 今のお話からこれ

の殆んどが商工業面につき 基礎として吸収されて、 そ 間易保険料が

でない。 本では、 でのでは、 でいると、 にいると、 でいると、 でい

れては来ませんでした。 そ のために日本の農業は、自 十五年十二月に厚生省が発いる死亡生残表を、昭和三 保険料の計算基礎となって 率が低下してきましたの 郵政省では近年国民の死亡 女くなりました で ◆酒は静かに飲むべきもの、ほどほどに飲むべきものである。 味飲楽酒とそ、飲酒家のである。

である。世の下である。世の下である。世の下ではず、一個ではず、一個ではず、一個ではず、一個ではず、一個では、一個では、一個では、一個では、

で夜ひとの部り

なりけりとりつつ

や農業所得が、国家財政の な工業政策の犠牲に農業が の事実なんですから、地租されて来たのは、まつたく べきだったんです。 (以下次号につづく)

日

赤

募

金

めんよりのつづき

日赤募金

(白い羽根募金)

を婦人会

る本村農業経営のこの後の在り方に参考にな したのであります。一大転換期に直面していよって座談していただいた、その記録を転載 三氏に願つて「これからの日本農業」の題に この記録は県が農村問題の大家である左記の れば幸いであります

> 皆さまの博愛のみ心によって明る の方にお願してただ今募金中です。

社会を建設したいと思って

います。

協力の程切にお願いいたします。

東京大学農学部教授 農業共済新聞編集長 宙 賢 志 造 市 と比べて、農業所得が低い 産性が低い)を出して昨年 弱い④兼業農家が増えてお 題調査会が設置され、今年 七月には、農林漁業基本問 人や老人が多い⑤農業の生 り、又農業を止めるのは婦 給力が低い③国際競争力が を占めるのに、国民の食糧 32年に「農林白書」で五つ ②農業人口が国民の四〇% 赤信号(①都市の勤労者

もつて自分の力で経済を拡

近代的な技術を

大発展させることも出来ず

日から保険料が安くなり

申し訳的な政府の保護

農獣医学部教授 長獣医学部教授

席

者

向上」をかかげて行こうと 策の大転換をはかろうと言 済全体の立場から、農業政 れ迄の農林予算獲得を目指 表されました。これは、こ と基本対策」と言うのが発 した曲角論と違つて国の経 食糧増産」という旗じる ものです。色のあせた わりに「農業所得 はそれがなかつた。 になるとスティー ラウ)が出現しています す。つまり片方で産業革命 年には完全なものが出来て クターが発達して一九三〇 一八九〇年一一九〇〇年頃 業に影響して、農業を発展 になったのではないでしよ 農業はいつまでも、オイテ 反対で工業ばかり発展して 行して農業改革が進行して が進むと片方ではこれに平 います。現在では一〇aを 発明されるとすぐに農業に 国の労働生産性と現在の日五年(産業革命当時)の米 本の労働生産性が同じ位で いるんですね。日本はこの 一、二時間で耕転していま 米国では、蒸気機関が 外国では、他産業 ムプラウ(蒸気が それがすぐ ムトラ 一八三日本に

的な政策と、工業等の他に キぼりの手労働農業だつた ◇「酔どれ防止法」が、愈ったと思うとなさけないよう。 の美点がある。 がある。 で表を深れ な気がする。

ら「酒者天之美禄」といい 「酒者百薬之長」とも言つ

る。 どから がから がから がから がから がから がある ◇牧水の酒の歌を数首

をすすめております。 のために、ぜひ簡易保険を の生活の安定 よう、ご加入 にしてお し添えます。

びしくぞ酌む ひしくぞ酌む かなかさ

ラ族は、この語を座右銘と たい。 での語を座右銘と

の準備や、結婚資金の準備 なりますのでくれぐれも申 その人達がその儘かけ金も する方法があるのですから 活に追われて継続してかけ 将来どんな不幸がおきても 必ず役場に来られて相談し は加入者の身分をそのままあります。そのような人に 非実行して頂き度いことが て下さるか組合長に事情を けず滞納したりしますと 金が支給されないのみか し出て相談して下さい いてかけ金を免除

下げ記念簡易保険新加入運 かわいいお子さまの学資金 おりますが、 以上年金法の大体のあらま とになるのです 七十才を過ぎてもらえる福 に保険料をかけたくても生 しを申し上げましたが最後

と助成金で生きのびて来た。この保険料引下げに伴つて を採用しましたので四月一 今までの契約に対しては配 ま 又人間は、いつどとで、どに大変不利益になります。 故意に加入しなかつたり滞 定めている制度ですから加 るように国民年金は法律で 入してもしなくても良いと 先月号の村報にもかいてあ ことはないと思います。 納したりすると本人のため ことを信用できないと言う 言うものではありません。 る所得倍増にみあつて、 一千五百円を五千円に引き千二百円を二千円に、月 、今さかんに言われていす。
現しる。 なみに ていますので政府のやる げようと言う計画がねら 現に今でも厚生省で しようと言う考え